

銀河レポート401

No. 36
5月号

発行日：平成30年5月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

5月の星空

うしかい座

例年5月2日頃にあたる八十八夜とは、立春から数えて88日目となる日のこと。昔から種まきや茶摘みに最適な時期とされてきました。この夜の20時頃、東の空に輝く明るい星がうしかい座のアークトゥルスで、和名を「麦星」といいます。昔の人は、この麦星が高く昇る頃に麦の刈り入れをしたそうです。

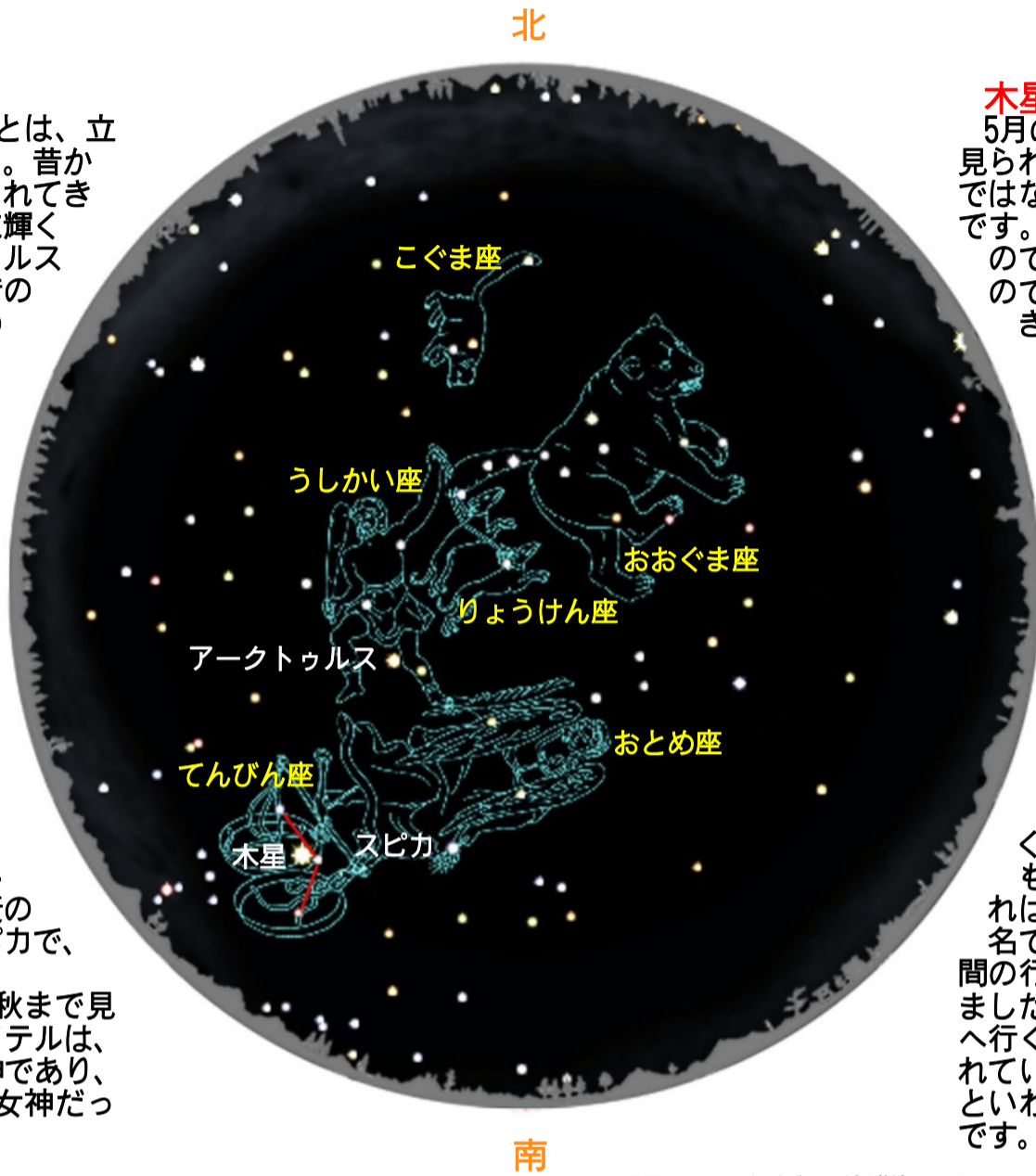
アークトゥルスとはクマの番人という意味で、近くにいるクマを見張ることが仕事です。このクマとは、北の空にあるおおぐま座とこぐま座のことです。このうしかいは2匹の犬を連れています。それが、おおぐま座のとなりに位置するりょうけん座です。まるで、うしかいがクマの番をさせているようにみえます。

おとめ座

おとめ座は、88個ある星座の中で2番めに大きな星座です。

おとめ座の女性が左手に持っている麦の穂から農業の女神デメテルであると伝えられています。その麦の穂のあたりに輝く星が1等星のスピカで、和名は「真珠星」といいます。

春になると昇ってきて、収穫の秋まで見ることができるおとめ座の女神デメテルは、昔の人にとっては、春を告げる女神であり、農作物の実りをつかさどる大切な女神だったのでしょう。



木星

5月の夕方、東の空には明るく輝く星が見られます。これは、星座を形づくる星ではなく、太陽系最大の惑星である木星です。5月はてんびん座の位置に見えるのですが、木星の方がはるかに明るいので、今年ではてんびん座を見つけない目印になりそうです。

夜半ごろになると木星は南の空へ移り、東南東の空に土星が、その後、続いて火星が顔を出します。火星は今年の夏、地球に最接近します。5月の明け方の南の空は三つの惑星が勢ぞろいしてとてもにぎやかになります。早起きしてながめてみては

西

いかがでしょうか。

てんびん座

てんびん座はあまり目立った星がありませんが、ひらがなの「く」の字を裏返しにしたような形をしています。てんびん座の近くにあるおとめ座の女神デメテルは、もうひとつの呼び名があります。それは、正義の女神アストライアという名で、右手に大きな羽ペンを持ち、人間の行いを空の上から見て記録をしていました。そして、人間が死んだ後に天国へ行くか、地獄へ行くかを決めたとわれています。そんな人間の善悪を測ったといわれているのが、てんびん座の天秤です。

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

宇宙塾 「はやぶさ2 ～リュウグウ到着へカウントダウン～」

2014年12月3日に打ち上げられた小惑星探査機はやぶさ2が、今年の6月にいよいよ小惑星リュウグウに到着します。そして本格的な調査が始まります。そこで、今回の宇宙塾では、はやぶさ2のプロジェクトマネージャーである津田雄一さんにお越しいただき、はやぶさ2の最新の状況やリュウグウ到着後のミッションについて、苦労話なども交えて詳しくお話をさせていただく予定です。

講師：津田雄一氏

(JAXAはやぶさ2プロジェクトマネージャー)

日時：5月5日(土・祝) 18時30分から20時
(開場18時15分)

場所：5階プラネタリウム

定員：140席

※当日9時30分から1階総合受付で座席券を発行

料金：無料(1名様につき1席分まで)

※中学生以下は保護者同伴



JAXA津田雄一氏

リュウグウとイトカワ

リュウグウの大きさはイトカワの約2倍、球形に近い形をしていると考えられています。また、イトカワが岩石質の天体であるのに対して、リュウグウには太陽系が生まれた頃の水や有機物が今でも残されていると考えられています。有機物や水は生命を誕生させるために不可欠な物質です。もし、はやぶさ2がリュウグウに着陸してサンプルを持って帰ることができれば、地球での生命誕生の起源を考える上で大きな手がかりとなるでしょう。はやぶさ2のこれからの活躍が楽しみです。

5月のガリレオ教室

〈太陽のひみつ〉

恒星としての太陽の特徴や太陽系について、天文ボランティアが分かりやすく解説します。

<日時>

5月13日(日)

①11時から11時20分

②14時から14時20分



<場所>

5階コズミックラウンジ

※当日の自由参加・無料



★★観望会★★



《博物館主催きらら号観望会》

日時：5月26日(土)

時間：19時30分から21時

場所：市民公園

内容：月と木星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。

《天文ボランティア主催観望会》

日時：5月26日(土)

時間：14時30分から16時

場所：楠歴史民俗資料館

内容：太陽を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。
※きらら号は出動しません。

5月の月

8日



下弦

15日



新月

22日



上弦

29日



満月

編集後記

今年の春は、例年より早くやって来て暖かい日が多かったので、冬服をいつもより早く整理しました。しかし、暖かい日が予想外に続かず冬服が恋しくなる日もありました。自然界は、きちんと季節変化のペースを守っているようで少し安心しました。春がすみのかかった空でも木星は明るく輝いて、夜半には土星や火星も夜空に登場してきます♪